

避難状況をリアルタイムに把握することができる支援システム

ライセンス契約を受けていただき 本発明の実用化を目指していただける企業様を求めます。

災害発生時に避難所で行われる住民の避難状況の把握を容易にし、遠隔地から効率よく的確に支援できる災害対応支援システムです。

◆背景

災害が発生すると、避難所や災害対策本部が設けられます。これらの災害対応のための避難所ではスムーズな運営が求められます。しかしながら、この種の臨時避難所に、災害対応を遅滞なく円滑に行うための特別な設備を常設しておくことは困難です。また、近年の災害では「在宅避難者」への対応が注目されています。在宅避難者を把握するためには、避難対象者を照合することが欠かせません。ただ、それを可能とするICT技術は未確立のままです。迅速かつ確実に、在宅避難者を把握し、プロアクティブな対応が必要です。

◆発明概要と利点

発明者らは、簡易的なキットだけで避難所に避難した住民を容易に把握、避難状況として集約し、行政機関と共有する災害対応支援システムを開発しました。本発明は避難した住民に紙地図上の自宅にシールを貼ってもらい、それを小型計算機と画像処理によって位置と数に集約します。老若男女を問わず、誰でも簡単に情報を入力できます。また、シールを貼る際の人の映り込みなども自動で処理され、どの住民が避難所へ避難しているかについて、その情報が自動的に集約・共有されます。本発明により、人による情報集約や報告の必要がなくなり、迅速性を確保しつつ、運営担当者の負担が大幅に軽減されます。

- 住民の避難状況を遠隔地からの確かつタイムリーに把握
- 情報の入力が簡易なので、老若男女問わず入力可能
- 避難所の運営担当者の負担を大幅に軽減

◆研究段階

本発明の災害対応支援システムを構築。
令和4年中に新潟県内の防災訓練や地域の避難訓練にて実証実験を予定。

◆適応分野

- ・ 災害対応支援

◆公開情報

- ・ 未公開

◆希望の連携形態

- ・ 実施許諾契約
 - ・ オプション契約
(技術検討のためのF/S)
- ※本発明は京都大学から特許出願中です。

災害対応支援システム

避難所

避難者が避難状況等の情報を地図上に入力

管理センタの管理装置に入力データを送信

管理センタ

受信した入力データを自動的に分析

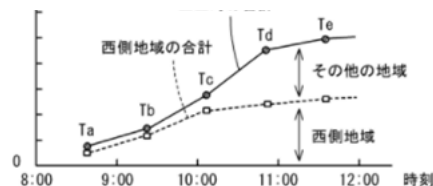
管理センタ

分析結果に基づき、避難所の活動を支援するための災害対応支援情報を作成

災害対応支援情報を避難所に送信

【基地局に対する災害対応支援情報の一例】

入力データの分析結果に基づき
避難状況の経時的な変化を作成



入力データの位置情報をリスト化

避難状況 表示マーク	位置座標		緯度経度		認識された時刻
	X	Y	緯度[度]	経度[度]	
JM1	13.4	11.1	35.***	139.****	8:35 [Ta]
JM2	30.9	28.3	35.***	139.****	8:35 [Ta]
JM3	8:35 [Ta]
⋮					⋮
JM25	9:20 [Tb]
JM26	9:20 [Tb]
JM27	10:05 [Tc]
⋮					⋮

避難が遅れている地域や住居等の
有用な災害対応情報を
効率よくタイムリーに取得可能

◆お問い合わせ先

株式会社TLO京都

E-mail: event@tlo-kyoto.co.jp

TEL: 075-753-9150

<https://www.tlo-kyoto.co.jp>



Office of Society-Academia
Collaboration for Innovation
KYOTO UNIVERSITY

